

最近の主な動きを お伝えします 市政トピックス



▲スクリーニングを受ける住民。今回は30⁺圏内自治体にいる全ての人に緊急速報メールを配信しました。

**住民参加の原発避難訓練
緊急速報メールも初配信**

中国電力島根原発の重大な事故を想定した避難訓練が11月19日、原発30⁺圏内にある島根、鳥取両県の自治体に参加して行われました。

安来では島田地区の住民62人が参加。避難所の一つ汐彩住宅では、8時に緊急速報メールが配信されると、住民らが集まりバスに乗って避難。検査会場の中海ふれあい公園に到着すると、バスの除染作業や避難住民の汚染状況を調べるスクリーニングなどを体験しました。

訓練に参加した福島秀明さん（和田町）は、「実際は渋滞などが起こるだろうが、参加することで避難するイメージができた」と話していました。



▲受賞した事業者と技術者の皆さん。

優秀な工事3事業者 市優良建設工事表彰

11月18日に市優良建設工事表彰が行われ、平成27年度に完了した市内の工事71件の内、特に優良な工事を施工した3事業者と技術者が受賞しました。受賞した事業者は次のとおりです。

【土木部門】

社会資本整備統合交付事業杉谷線道路改良工事
施工者 株式会社コンドウ

【建築部門】

安来市給食センター建設工事
施工者

電気設備：サンベ電気株式会社
安来営業所

建築：渡部工務店・大島工務所・丸永建設特別共同企業体

丸永建設特別共同企業体

ゆかりの地にちなんだイベントで 河井寛次郎に触れる

10月から開催されている没後50年記念事業「今こそ永遠・河井寛次郎」ふるさと安来への言伝（ことづて）。生涯にわたりふるさと安来を想い、また、多才であったことにちなんだ関連イベントが市内各地で開催されました。

11月13日には、寛の蔵ホールでの安来高校書道部の皆さんによるパフォーマンスのほか、やすぎ懐古館一風亭では手仕事体験「寛次郎に挑戦！」を実行委員会が企画。市内で今も息づく手仕事を体験してもらおうと、陶芸や草木染め、組子など、作家の皆さんの指導で、実際に



▲（上）やすぎ懐古館一風亭で開催した手仕事体験「寛次郎に挑戦！」▲（下）現代作家工芸展は観光交流プラザで展示しました。

ものづくりに触れることができました。

機織り体験にお母さんと挑戦した玉木鼓己くん（6歳・安来町）は「毛糸を上下に編んでいくのが楽しかった。家でもやってみたい」と話してくれました。

一方、観光交流プラザでは「安来の現代作家工芸展」を1カ月にわたって開催。電車の待ち時間などを利用して訪れた観光客たちは、クオリティの高い市内の工芸品を熱心に見入っていました。

